

## 第3回 気候に関する貿易大臣コアリション 閣僚コミュニケ

気候に関する貿易大臣コアリションは、発展段階、気候的脆弱性、貿易状況の異なる全ての地域の経済を代表し、気候行動と多角的貿易体制の双方で緊急性が高まる状況下で会合を行った。気候変動の影響が加速するなか、貿易政策は、持続可能な開発を進めつつ、気候変動の緩和と適応への努力を支える役割を果たさなければならないという我々の共通の信念を強固なものにしている。

コアリションの発足以降、我々は貿易、気候変動、金融の縦割りを打破するために取り組んできた。閣僚間の協議や主要な国際フォーラムへの参加を通じて、オープンで予測可能かつ包括的な貿易が気候変動に対する強靱性、経済変革及び持続可能な発展にどう貢献し得るかの理解を強化してきた。

コアリションのメンバーは、貿易関連の気候行動について関係する国際機関や政府間イニシアティブと連携しており、今後も引き続き連携する。また、持続可能な開発目標と整合し前向きなインセンティブを促す貿易政策の重要性を強調する。我々は、適応、強靱性、公正かつ公平な移行を支える貿易及び気候戦略の実施のための貿易関連の技術支援、能力構築、貿易のための援助に対するコミットメントを再確認する。

特に、我々は、貿易、気候変動、持続可能な開発の関連性に関して、世界貿易機関（WTO）における関与と努力を強化してきた。開発の視点を統合しつつ、透明性、整合性、相互運用性の向上を目的とした持続可能な農業、技術移転、貿易関連気候措置に関する議論を支持する。後者については、提出物を通じたものを含め、議論の円滑化や加盟国の措置への理解の深化を助けるコアリションメンバーの貢献を強調する。第14回WTO閣僚会議後の、貿易と環境委員会の今後の作業を含む、加盟国主導のこうした議論の強化を支持する。

我々は、貿易を通じて気候分野の成果を実現するために、中小零細企業を含む民間セクターが不可欠な役割を担うことを強調する。脱炭素化を推進し、持続可能、透明かつ強靱なサプライチェーンを支え、各国が設定したNDC（Nationally Determined Contributions）の達成に寄与する行動を特定するために、今後ともビジネスリーダーとの関与を続ける。

協力、包括性、透明性、リーダーシップというコアリションの原則に基づいて、我々は、政治的コミットメントを実践的な協力へと転換するための自主的行動メニュー（the Menu of voluntary actions）の活用を開始した。メニューに反映されているすべての分野において、これらの努力を強化・拡大し、協力を深め、共同行動のための新たな道を探求していく。

今回のコアリション閣僚会合に向け、我々は、ビジネスリーダーやシンクタンクを含むステークホルダーとの関与を強化するように上級実務者に指示をした。これは自主的行動に関する協力をさらに強化する方法を特定し、貿易が気候レジリエンスな開発やエネルギー転換を含む気候対応に引き続き貢献するための実践的な解決策を提示する取組を支える。この観点から、我々は、行動志向の協力的かつ包括的な解決策を支援するハイレベル・ラウンドテーブル（high-level roundtables）を開催する意向である。

我々は、本コアリションを通じ、貿易が、気候行動、強靱性、共通の繁栄に意味のある貢献をすることを確保するため、包括的なリーダーシップと協力に引き続きコミットする。